

一人一人が備えてこ！ 防災力UP！鳥羽

総務課防災危機管理室 ☎(25) 11118



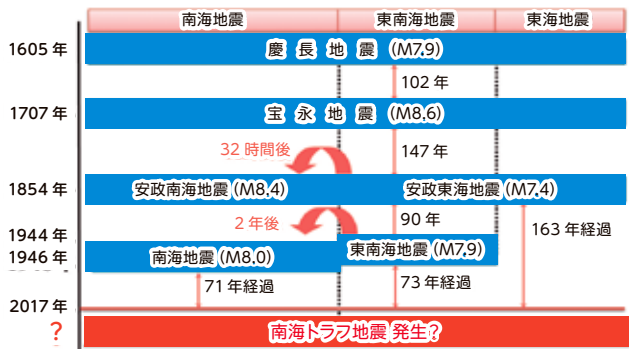
東日本大震災から6年

—大切なのは、すぐ逃げること—

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から、今年で6年になります。死者15,893人、行方不明者2,556人の人的被害（平成28年12月9日現在）が発生し、多くのかたが津波により犠牲となりました。市でも、南海トラフ地震の発生により、東日本大震災と同じような状況が起こると予測されています。

南海トラフ地震について

過去の地震の歴史をしてみると、100〜150年の周期で大きな地震が起っています。安政東海地震からは160年以上、昭和に起こった南海地震・東南海地震からも70年以上経過していることから、東海、東南海、南海の3つの地域で連動して同時に「南海トラフ地震」として発生する確率が高いと言われています。



	地震の規模	
	過去最大クラス	理論上最大クラス
早期避難率が低い場合	約900人	約900人
早期避難率が高く、呼びかけが伴う場合	約200人	約500人
地震発生直後に全員が避難した場合	約100人	約500人

南海トラフ地震における鳥羽市での死者数の想定

すぐ逃げることの大切さ

県が平成26年3月に発表した南海トラフ地震の被害想定調査結果では、地震発生後すぐに避難をすることで犠牲者を減らすことができるという結果が出ています。津波から命を守るために、東日本大震災から得られた「すぐ逃げる」という教訓を忘れることなく、一人一人が日頃から意識を持って備えることが命を救うことにつながります。

消費者トラブルにご用心! vol.23

消費生活相談

開設日時：月・水・金 午前9時～午後4時
場所：市民文化会館3階
農水商工課商工労政係 ☎(25) 1230
鳥羽市消費生活相談室 ☎(25) 1241

情報通信関連の相談が多発！ 高齢者からの相談内容も変化

近年のパソコンやスマートフォンなどの普及により、情報社会が一段と進んでいます。これに伴い、インターネット通販や光回線サービスの卸売など、インターネット通販や情報通信関連の相談が増加しています。中でも、高齢者によるインターネット通販や情報通信関連の相談が全国的に多くなってきました。

アドバイス

自分では、トラブルにあっていることに気付くのは難しいですが、トラブルや被害にあっていると分かったら、自分だけで判断せず、すぐに周囲の人や最寄りの消費生活センターに相談しましょう。また、周囲のかたは、生活や言動、態度などの変化に気付いたら本人に声を掛けましょう。

国民生活センターによるとその相談内容は5年前と比べ大きく変化しました。金融商品の購入を不意に勧められたことによるトラブルが減少し、自発的に取引を行う通信販売

